

## 教材例

### 【教材名】 絵ヒントつきなぞなぞ



#### 【指導目標】

- 1 短文の文字がスムーズに読める。
- 2 短文の意味を理解することができる。
- 3 複数の条件を満たす物を考える等、「かつ」「または」の意味理解と使用ができる。
- 4 物の機能や性質などを言語的に定義づけたり、イメージする等ができる。

#### 【やり方】

- 1 箱の中からのぞなぞカードを一枚取り出し、文を読んで答えを言う。  
正解したら一枚ゲット。シートにカードを並べて、9枚先に並んだ方が勝ち。
- 2 答えがわからないときは、予め用意した絵の中から正解を選択し指さす。
- 3 指差しはできるが、名前が思い出せない、知らない場合の対応は子どもの実態に依る。難易度が高いときは、予めヒント絵を呼称してから問題に臨む方法もある。

#### 【適用できない例】

- 1 文字の読みが著しく困難な子。（指導者が読んであげる対応なら可能）
- 2 ヒントの絵を提示してもほとんど回答できない子。